

野木沢

自治センターだより

平成27年12月号

◇編集と発行 野木沢自治センター

電話 26-4939

FAX 26-3135

◇発行責任者：センター長

二瓶 匡

昔ばなし（民話）は伝統文化の宝物

ばあちゃんの昔ばなしを聞いて育った私ら中高年。昔ばなしの底流にある道德と、善と悪を定義づけずに、やんわりと悟らせる話法はどんな道德教本よりもすぐれている。

そこには、押しつけの教育や、国家の史観も入り込まず、ましてや宗教的な独善性をも排除している。何べん聞いても飽きなかった昔ばなしが、今は日常の生活から遠ざかり、子ども達の視野の中にも存在しなくなってしまったが、心ある「語り部」のみなさんが民話を次の代へつなごうとたゆまぬ活動を行っている。



先月のミニディー「のぎさわの会」は、大玉村の語り部・後藤みづほさんから安達太良地方に古くから伝わる民話を聞いた。

「むか〜し、むか〜し、あるところにな〜・・・」で始まるおなじみのフレーズ。物語が進むにつれて次の展開が気になり、身を乗り出す聞き手。善良だった人が、ほんの気の迷いから悪人に変貌するが、物語ではこれを打ちのめしたり、破壊したりはしない。悪行を自ら悟り、わが身を悔い、鳥獣に身をやつして懺悔の旅に立つ。民話はどの物語も人の命、生き物の命を粗末にしない。それは、破壊し尽くして勝利するという現代の感覚に警鐘をならしているように思える。

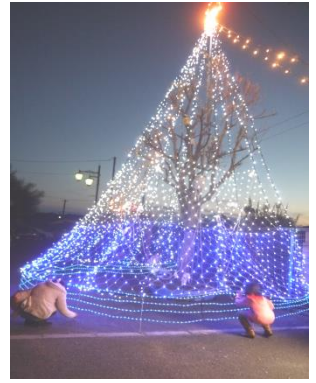
語り部・後藤みづほさんは、あだたら県民の森近くで「森の民話茶屋」を経営している。八月に野木沢料理教室の移動研修で、この民話茶屋を訪れた。



ふるさと民話を4編ほど聞いて、次は地産地消の手づくり伝統料理をいただく。その品数の多さには驚く。食後は、「遠藤が滝」から引き込んだ水で煎れた抹茶、コーヒーを楽しむ。これで料金が1,100円というからまたまた驚き。営業は11月末までで、来年4月下旬にオープンする。後藤さんは言います。「先祖が残した民話は、汗と涙と笑いを煮詰めた一滴です。宝物の民話で“心”を癒し、とっておきの料理で“身体”を癒してください」と・・・。

きらめく星座のように、駅前広場にイルミネーションが灯りました

まちづくり中野部会が取り組む、恒例のイルミネーション点灯です。
 11月28日に17人の関係者で、飾り付けの細かな作業に当たりました。
 これからの寒さ厳しい季節にホッと心温まるきらめきです。
 1月末まで、夕方4時から10時、野木沢駅前に灯ります。



☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆

復興、復興というけれど、こんなニュースは悲しいね

11月下旬でしたが、夕方の某放送局の県内ニュースでこんな報道がありました。
 いわき市四倉町の道の駅「よつくら港（みなと）」で、放射能検査を経ない広野町産の「ゆず」を販売したため、すべてのゆずを撤収したというニュースでした。その後、そのゆずを検査した結果、放射性セシウムは検出されなかったとも伝えている。

道の駅「よつくら港」といえば、大震災の津波で流され、再開まで仮設での営業や販売品目の激減などかなりの苦勞をし、石川町地域づくりアドバイザーのN氏も四倉まで出向き復興に尽力されたと聞いている。また、広野町は地震、津波、原発事故で痛烈な三重苦を強いられ、石川町でも総合体育館などに避難者を受け入れた。

ニュースでは、生産者が広野町のゆずの出荷が制限されているのを知らなかったのが原因と説明した。このニュースはここで終わり、他人事のような福島メディア。こういう事態の奥深い因果まで掘り下げていない。原発に関する真の情報発信を自ら制限している。報道するのは、芸能人が来て復興コンサートをやったとか、アスリートが来て〇〇教室を開いて子ども達とふれあったとかそんなことばかり。そんなことは福島の復興とは何の関係もない。私たちが望むのは、大震災と原発事故前の福島に一日も早く立ち戻ることだ。そのためにも特に福島の記事は真摯なまでに、県民に寄り添った着実な取材と情報発信に徹するべきだと思う。

ニュースの最後には、主な地域の空間線量を表示するが、事故直後からその数値がどう変わってきたのか、はたして逡減しているのか、除染、除染というのが、除染効果はどうか、それを言わないのが今の報道の仕方だ。きまって「詳しくは県のホームページで」で終わる。

これは県内の加工食品メーカーから聞いた話だが、この会社の製品の多くは関東の学校給食に納品していた。原発事故後、PTAが行政に対して福島県産のものは使用しないよう主張し、その後現在に至るまで取引は停止しているという。これが事実なら「風評被害」の克服などほど遠いものでしかない。

「ゆず」のはなしに戻るが、生産者と販売者を悪者にするに似たこの報道、この両者の心情を想えば、悲しさを超えて悔しさと怒りがこみあげる。こんな福島がつづくのなら、「福の島」どころか日本の「離れ島」になってしまうだろう。

***** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *

12月の行事予定

- 2日 (水) ・ミニディのぎさわの会 9:00～
- 4日 (金) ・野木沢駅環境整備作業 6:30～
- 12日 (土) ・まちづくり「のぎさわだれでも塾」 19:00～
- ・まちづくり特産品部会定例会議 19:00～
- 15日 (火) ・野木沢料理教室
- 19日 (土) ・自治センター企画推進委員会 18:00～
- 23日 (水) ・野木沢青少協主催 書き初め大会練習日

自治センターは、12月29日～1月3日まで休館となります。